

## 前立腺肥大症の新しい手術 HoLEP

済生会新潟第二病院 泌尿器科 吉水 敦

前立腺肥大症の手術といえば少し前までは切除内視鏡を使用し電気メスで前立腺腺腫を切除する TUR-P（経尿道的前立腺切除術）が主にやられていましたが 1990 年代後半にホルミウムレーザーを使った経尿道的手術が現れその一つである HoLEP（経尿道的ホルミウムレーザー前立腺核出術）が今後のゴールドスタンダードになると考えられています。HoLEP はレーザーで腺腫と外科的被膜の間を止血しながら剥離し腺腫を膀胱へ核出した後モルセレーターを使用してその核出腺腫を細切・吸引し体外へ取り出す手術であり健康保険が適応され TUR-P とほぼ同じ手術点数ですので治療費が今までと比して高額になることはありません。当院でも 2006 年 7 月より開始し試行錯誤しながら 2007 年 12 月までにある程度の手技を完成させました。現在新潟県では当院と済生会三条病院でしか行っていません。出血が少ない・術後の疼痛が軽い・再発の可能性が低いなどの特徴があり当院の 500 例以上の経験からも患者さんに優しく安全性の高い手術であると言えます。HoLEP の課題として挙げられている手技が煩雑・腹圧性尿失禁が多い・手術時間が長い・モルセレーションが難しい・小さな前立腺には不向き・尿道狭窄が多い・コストがかかるなどについては手技が煩雑な点や尿道狭窄が多いこと以外は当院ではほぼ課題を克服しましたので今新潟市で前立腺肥大症の手術として TUR-P を選択する理由はないと言えます。前立腺肥大症は投薬で治すことは出来ませんので投薬で症状の改善が不十分で手術を希望される患者さんは当院の連携室経由で当科にご紹介頂くのが一番良い選択と考えています。